



沖 大幹

「世界の水問題をめぐる最新動向」－気候変動とウォーターフットプリント－

水・地球環境問題特別研究会

RC-70

代表幹事

沖 大幹（東京大学 生産技術研究所 教授／
東京大学 大学院 工学系研究科 教授）

幹事

伊坪徳宏（東京都市大学 環境学部 教授／
東京大学 生産技術研究所 客員教授）
沖 一雄（東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門 特任教授）
芳村 圭（東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門 教授）
山崎 大（東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門 准教授）

連絡先

塚田由紀（沖大幹研究室）
Tel : 03-5452-6382
Fax : 03-5452-6383
e-mail : tsuka@iis.u-tokyo.ac.jp

主旨

水はすべての生命の源であり、人間社会に恵みをもたらす一方で、時に深刻な災害をもたらします。日本では自然災害という地震・津波に関心が寄せられがちですが、損害保険でみると風水害に対する支払額の方がむしろ多く、水リスクへの備えが企業にも求められています。

また、地球温暖化は全球的な気温の上昇をもたらすばかりではなく、雨の降る地域や強さも変えます。高潮、暴風雨、洪水、早魃、それらに伴うインフラ施設被害や食料不作など、気候変動は概ね水を通じて人間社会に悪影響をもたらすため、気候変動対策としての水分野の適応策は喫緊の課題です。

さらに、2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」では、2030年に向けて民間セクターを含む国際社会が実現に向けて取り組むべき17の開発目標(SDGs)が定められ、水は目標6に、気候変動対策は目標13に掲げられています。企業価値の向上、逆に風評被害による企業価値の毀損回避という側面からも、各企業の自主的な行動が必要とされています。

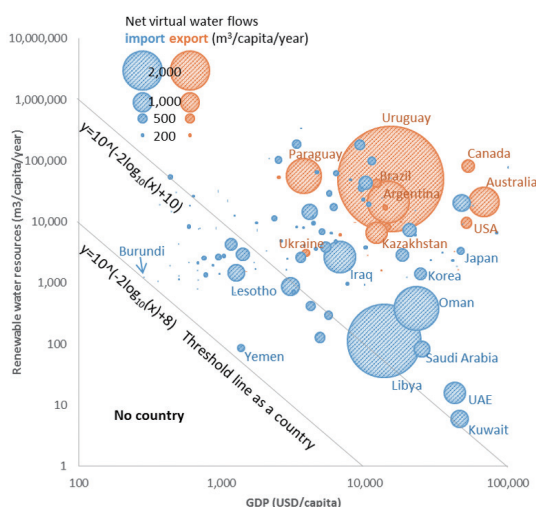
このように、国内外で積極的な取り組みが求められている水と気候変動などの地球環境問題への取り組みについて、何ができる問題で国際社会はどのように解決しようとしているのか、日本企業が取り組むメリットは何かを解き明かし、これらの分野でも各企業が主体的に取り組める具体的な方策を探り、そのために必要な技術開発と共有を展開します。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

参 加 費：賛助員の場合：15万円（別途賛助員年会費1口10万円がかかります）

非賛助員の場合：25万円

定 員：最小3社、最大20社

運 営 方 法：年4回程度、1回2時間程度の定例研究会を開催



世界各国の正味の仮想水輸出入と経済力、水資源賦存量の関係。



2017年5月ニューヨークの国連本部における
STI for SDGs会議での様子

特別研究会申込方法

下記連絡先まで電子メールでお申し込みください。

連絡先：一般財団法人 生産技術研究奨励会 特別研究会係

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内Dw405

TEL：03(5452)6095

e-mail：renhisho@iis.u-tokyo.ac.jp



●HPアドレス：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_2020.html

●特別研究会会員規則：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_gazou/rc2020/RC-kaiin-ki.pdf

2020年度 特別研究会申込書

特別研究会規則に同意の上、お申し込みください。

申込日：____年____月____日

いずれかに○をつけてください。

[] 新規

[] 継続（継続参加の場合も、年度毎に申込書をご提出ください。）

(1) 特別研究会No. : RC-

(2) 貴社名 :

(3) 参加者（参加者複数の場合は、代表者をご記入いただき、その他の方は別紙でご提出ください。）

（フリガナ）

■氏 名 :

■所 属 :

■役 職 :

■勤務先所在地 : 〒

■電話番号 :

■Fax :

■E-mailアドレス :

(4) 事務担当連絡先（上記(3)と同一の場合、ご記入の必要はありません。）

（フリガナ）

■氏 名 :

■所 属 :

■役 職 :

■勤務先所在地 : 〒

■電話番号 :

■Fax :

■E-mailアドレス :

賛助員について

いずれかに○をつけてください。2と3については口数をご記入ください。

1. 既に賛助員である。

2. 既に賛助員であるが、増口する。

□（1口につき年会費10万円）

3. 賛助員未入会につき、新規申込みをする。

□（1口につき年会費10万円）

4. 賛助員申込みをしない。

ご不明の場合には、上記までお問い合わせください。

賛助員の詳細については、<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/memberhp.html>をご覧ください。